

いい皮膚の日 市民公開講座 ～みんなで学ぶ 皮膚の病気～、皮膚病無料相談

日時：毎年11月12日(イイヒフ)前後の休日

場所：岡山県医師会館 など

主催：日本臨床皮膚科医会岡山県支部

講演

開催年月日	演題名	講演者
H2	おしゃれと皮膚	三好 薫(川崎医科大学附属川崎病院皮膚科部長)
H3	皮膚感染症(うつる皮膚病)	益田俊樹(国立病院皮膚科医長)
H4	皮膚癌で死なないために	幸田 衛(川崎医科大学皮膚科助教授)
H5	アトピー性皮膚炎の治療とスキンケア	多田譲治(岡山大学皮膚科講師)
H6	副腎皮質ホルモン外用剤について	長尾 洋(岡山赤十字病院皮膚科部長)
H7	ホクロの癌はどんなもの？	荒川謙三(岡山大学医学部皮膚科助教授)
H8	どうして治らないの？私のアトピー性皮膚炎	吉田彦太郎(広島市民病院院長)
H9	ほんとに恐いの？アトピー性皮膚炎のステロイド療法	小野公義(姫路赤十字病院皮膚科部長、副院長)
H10	知っていますか？放っておけない皮膚病	片山治子(岡山済生会総合病院皮膚科医長)
H11	こんなにある うつる皮膚病・こわい皮膚病-手遅れにならないために-	梅村茂夫(岡山市立市民病院皮膚科部長)
H12	知っておきたい皮膚病の常識・非常識	藤原愉高(岡山労災病院皮膚科部長)
H13	知っておきたい・年とともに増える皮膚病	宮内東光(倉敷中央病院皮膚科主任部長)
H14	あなたの皮膚は健康ですか-正しいスキンケア-	岩月啓氏(岡山大学医学部皮膚科教授)
H15	紫外線と上手に付き合う-健康と美容のために-	市橋正光(神戸大学名誉教授、サンクリニック・サンケア研究所所長)
H16	-知っておきたい-ありふれた皮膚病・こわい皮膚病-	藤本 亘(川崎医科大学皮膚科教授)
H17	知っていますか-うつる皮膚病・こわい皮膚病-	秋山尚範(岡山市民病院皮膚科部長)
H18	-対策は出来ていますか？-冬に多い皮膚病-	大谷稔男(倉敷中央病院皮膚科主任部長)
H19.11.23	知っておきたい皮膚の話 あれこれ	益田俊樹(国立病院機構岡山医療センター皮膚科医長)
H20.11.3	増えている皮膚癌-年令とともに増加。あなたは…？	荒川謙三(川崎医学振興財団川崎病院皮膚科部長)
H21中止		
H22.11.7	教えて！-アトピー性皮膚炎最新情報-	加藤則人(京都府立医科大学皮膚科学教授)
H23.11.6	健康で若々しい皮膚を保つために-紫外線と老化(リセリ)-	川田 暁(近畿大学皮膚科教授)
H24.11.3	ニキビに関するウソ、ホント-ニキビのスキンケアと治療薬について-	谷岡未樹(京都大学大学院医学系研究科皮膚科学講師)
H25.11.7	こどもに多い感染による皮膚疾患	馬場直子(神奈川立こども医療センター皮膚科部長)
H26.11.16	健やかな肌を保つために～各年代で起こりやすい肌トラブルとその対策～	菊池克子(東北大学病院皮膚科講師)
H27.11.15	患者歴50年の皮膚科医が語るアトピー性皮膚炎-生活と治療のこつ-	片桐一元(獨協医科大学越谷病院皮膚科教授)
H28.11.23	アトピー性皮膚炎とは？	佐伯秀久(日本医科大学大学院医学研究科皮膚粘膜炎病態学教授)
H29.11.23	高齢者の皮膚トラブルからアトピー性皮膚炎まで	室田浩之(大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座皮膚科学教室准教授)
H30.11.23	これだけは知っておきたい、こどもからお年寄りのアトピー性皮膚炎	青山裕美(川崎医科大学皮膚科学教授)
R1.11.23	アトピー性皮膚炎との治療を正しく知ろう2019～日ごろのお肌のお手入れから最先端の治療法まで～	妹尾明美(岡山赤十字病院皮膚科部長)
R2中止		
R3.11.23	あなたに伝えたいざんねんなスキンケア～ドライスキンからプチ美白まで～	安部正敏(札幌皮膚科クリニック院長)
R4.11.23	加齢による皮膚のトラブル～スキンケアとセルフチェックの重要性～	山崎 修(島根大学医学部皮膚科学講座教授)
R5.11.23	皮膚の乾燥を伴い、痒くなる病気を克服しよう！～スキンケアの重要性～	池田政身(海部医院皮膚科)